令和3年度 第2回東住吉区区政会議

1 開催日時 令和3年9月27日（月）午後7時00分～午後8時42分

2 開催場所 東住吉区民ホール

3 出席者の氏名

（出席委員）

沼田壮人議長、中津功一朗副議長、大平和子委員、柿本直也委員、榊 徳子委員
建林典夫委員、筒井由美子委員、花川義翁委員、藤本英治委員、松岡君恵委員
翠 紀雄委員、美濃 満委員、山田邦江委員、山本優美委員

（市会議員）

加藤仁子市会議員、辻 義隆市会議員

（東住吉区役所）

塩屋区長、中原副区長、杉本総務課長、今西事業企画担当課長
森本総合調整担当課長、西川区民企画課長、伊藤次世代育成担当課長
渋谷窓口サービス課長、市川保健福祉課長、玉木保健主幹
奥田子育て支援担当課長、松木保護課長、西村生活支援担当課長

4 議題

1 開会

2 東住吉区長挨拶

3 令和2年度東住吉区区政会議委員評価シート（集計）について

4 令和3年度東住吉区運営方針の中間振り返りについて

5 その他

6 閉会

○森本総合調整担当課長

皆様、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまより令和3年度第2回東住吉区区政会議を開催いたします。私は本日司会進行を務めさせていただきます、総合調整担当課長の森本です。どうぞよろしくお願いたします。

本日も出席の委員につきましては、名簿と座席表をご参照ください。本日の出席状況ですが、午後7時現在委員18名中12名の方にご出席いただいております。区政会議の運

営の基本となる事項に関する条例第7条に定められております、委員定数の2分の1以上の出席がございますので、有効に開催されていることをご報告いたします。

続きまして本日もご出席いただいております、市会議員の皆様をご紹介させていただきます。

加藤議員でございます。

○加藤市会議員

こんばんは。よろしくお願いたします。

○森本総合調整担当課長

辻議員でございます。

○辻市会議員

みなさま、こんばんは、おそれいます。よろしくお願いたします。

○森本総合調整担当課長

ありがとうございます。続きまして区役所職員をご紹介させていただきます。時間の都合もございますので私から名前を読み上げ、一礼させていただく形で紹介とさせていただきます。塩屋区長でございます。

○塩屋区長

よろしくお願いたします。

○森本総合調整担当課長

中原副区長でございます。

○中原副区長

中原です、よろしくお願いたします。

○森本総合調整担当課長

杉本総務課長でございます。

○杉本総務課長

よろしくお願いたします。

○森本総合調整担当課長

今西事業企画担当課長でございます。

○今西事業企画担当課長

よろしくお願いたします。

○森本総合調整担当課長

西川区民企画課長でございます。

○西川区民企画課長

よろしく願いいたします。

○森本総合調整担当課長

伊藤次世代育成担当課長でございます。

○伊藤次世代育成担当課長

よろしく願いいたします。

○森本総合調整担当課長

市川保健福祉課長でございます。

○市川保健福祉課長

よろしく願いいたします。

○森本総合調整担当課長

奥田子育て支援担当課長でございます。

○奥田子育て支援担当課長

よろしく願いいたします。

○森本総合調整担当課長

玉木保健主幹でございます。

○玉木保健主幹

よろしく願いいたします。

○森本総合調整担当課長

松木保護課長でございます。

○松木保護課長

よろしく願いいたします。

○森本総合調整担当課長

西村生活支援担当課長でございます。

○西村生活支援担当課長

よろしく願いいたします。

○森本総合調整担当課長

渋谷窓口サービス課長でございます。

○渋谷窓口サービス課長

よろしくお願いいいたします。

○森本総合調整担当課長

私、総合調整担当課長の森本です。よろしくお願いいいたします。それでは会議の注意事項をご説明させていただきます。会議は発言者のお名前と発言内容が会議録に残り、公表いたしますので、ご承知おき下さい。発言されます際は挙手をして意思表示をしていただき、議長から指名があれば最初にお名前をおっしゃっていただき、ご意見を述べるようお願いいたします。また会議中は携帯電話をお切りいただくか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。傍聴における遵守事項として写真撮影や録画・録音は区長の許可無くできないこととなっておりますので、委員の皆様におかれましてもお控えいただきますようお願いいたします。

では次に塩屋区長から開会にあたってのご挨拶を申し上げます。

○塩屋区長

改めまして、どうぞよろしくお願いい申し上げます。本日は月末の最終週の月曜日ということでございまして、また特に9月ということで上半期末の最終週、本年度の第2四半期末でおそらく公私ともにご多用の日程だったと思います。そういった中ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。改めてお礼を申し上げたいと思っております。

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中でございます。今日はこの広い会場にさせていただいております。少し話しにくいという雰囲気があるかもしれませんが、是非ご遠慮なく忌憚なくご発言いただければと思っております。私は少し目が悪いので議長席のほうなどは少しぼやけてしまっってはっきり見えないような状況ですが、そういったことを皆さん方、ご容赦いただきながら活発な区政会議になればと思っております。

緊急事態も今月末で解除になりそうな状況ですが、そのあとどうなるのか検討が必要だと思っております。いずれにしましてもこのような密を避けるような感染防止対策を講じながらいろいろなことをやっていかなければなりません。なかなか完全・きれいにアフターコロナにはなりません。ウィズコロナの中でどうやって活動していくのかといったことを打ち出していないといけないということが見通せるような状況になってきたと思っております。是非皆さん方もそれぞれのお立場でその辺をお考えいただきながらご発言いただければと思っております。

大阪市も9月15日から秋の市会がスタートしておりまして、当区の関連では以前もご報告させていただきましたが、矢田南部の市有地の未利用地について、売却の案件がこの秋

の市会に上程をされており、今のところ順調に審議いただいています。9月24日の市政改革委員会ではご賛同を得ているということでございまして、最終、市会の決着を待ちたいと思っているところでございます。また学校のほうも、感染状況がかなり収まってきているとはいえ、クラス休業や学年休業などを行いながらなんとか頑張らせていただいているという状況が続いています。引き続き注視しながら進んでいきたいと思っております。本日、昨年度の委員評価シートについてのご報告をさせていただいて、またさまざまなご意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願ひ申しあげたいと思ひます。

○森本総合調整担当課長

それでは議事に入る前にお配りしております資料の確認をさせていただきます。お手元次第の裏面、配付資料一覧をご覧ください。まず資料1でございまして、令和2年度東住吉区区政会議委員評価シート（集計）というものでございまして。資料の2としまして本日机の上に配付させていただいております令和3年度東住吉区運営方針（中間振り返り）です。それから1枚参考資料としまして令和3年度第1回区政会議、前回7月27日における主なご意見と区への対応についてという資料の3点をご用意いたしております。もし不足がございましたら、挙手下さい。

それでは早速ですが、これより議事進行を沼田議長にお願いしたいと思います。議長よろしくお願ひいたします。

○沼田議長

はい、みなさん、こんばんは。よろしくお願ひいたします。

先ほど冒頭、区長からも広い会場の中で目が悪くてというお話がありましたが、私もコンタクトをしています。かなりの近眼で指名の際に少し失礼があれば何卒ご容赦ください。

今年度2回目の区政会議ということでございまして。またこの9月末で任期を終えられる区政会議委員の皆様方にとっては最後の区政会議ということになります。皆様お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。それではこれより議事に入らせていただきます。

議題1の令和2年度東住吉区区政会議委員評価シート（集計）についてご説明をお願いいたします。

○森本総合調整担当課長

改めまして総合調整担当課長の森本です。私から説明をさせていただきます。

令和2年度東住吉区区政会議委員評価シート集計ということで、前回7月27日の区政

会議において運営方針の目標達成状況について区役所から説明をさせていただきました。それに対する委員の皆様の評価ということで、アンケート形式でいただいたものの集計ということになっております。一番上、委員総数18人のうち12名の方からご回答をいただいております。質問事項は2点ございます。まず1のところでは令和2年度東住吉区運営方針に記載の各経営課題において取り組んだ内容は総合的に見てめざすべき将来像の実現に有効であったと思いますかという質問です。当区の運営方針経営課題1、2、3、4、5と2つ掲げておまして、それぞれの経営課題ごとにめざすべき将来像というものを定めております。

それぞれの経営課題の具体的取組みにおいて、このめざすべき将来像の実現に有効であったかどうかということをお聞きしている内容になっております。経営課題1、2、3、4、5それぞれに1から4の評価をつけていただきまして、その平均点がお手元資料の一番右の太線で囲っている部分になります。

例えば経営課題1でございますと平均点が2.83点になっております。ご覧いただきましてお分かりのとおり1から5まで昨年度の数値から若干数値が悪くなっているということで、下の括弧書きしているところが昨年度の平均点で上の大きな数字が昨年度の評価ということになっております。例えば経営課題3のところだと前年度は3.44点という平均だったのが今回は2.58点ということで1ポイント近く下がっているという状況になっております。

その理由の分析ですが、例えば「みんながつながるまちづくりの推進」というところですと区民フェスティバルや区民文化祭などの区の行事ができなかったり、あるいはそのほかの分野でも子育て応援フェスタや防災訓練、親子サロン等々、さまざまな地域活動が取組としてできなかったということで、その結果、最終的な目標の達成状況があまり芳しくなかったということになっておりますので、昨年度の評価については数値が若干悪くなっているというように思っています。

2ページ以降にそれぞれ評価理由をお書きいただいております。本当にいろいろなご意見をありがとうございます。時間の都合もありますのですべてご紹介はできませんが、やはり今申しあげましたように昨年度はコロナ禍という状況の中で思うように地域活動など取組みができなかったということでやむを得ないというご意見なども寄せていただいておりますので、コロナ禍が終わったあと、アフターコロナ、ウィズコロナの中で今後引き続き地域のつながりづくりや子育て層が住みたい、住み続けたいと思うようなまちづ

くりなどそういった取組みを進めていきたいと考えておるところでございます。

それからもう1つの質問が2のところです。経営課題1から5は区の目標の実現に有効であったと思いますかということで、当区では「子どもが輝き、みんながしあわせなまち」というのを区の目標にしておりますが、まちの実現に向けてそれぞれ経営課題の設定は有効であったかというところでこちらにつきましても平均点2.83点ということで前年度の3.31点に比べますとやはり数値が若干悪くなっているというところでございます。

以上、簡単ですが、ご紹介とさせていただきます。

○沼田議長

はい、ありがとうございます。今のご説明によりますとさまざまな行事がいろいろな分野で中止になった。コロナ禍の影響で中止せざるを得なかったという状況もあって全体的に評価が少し低めになったというお話でございました。これに関して特にご意見・ご質問がありましたら、挙手していただければと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいですか。よろしければ、続きまして、議題2の令和3年度東住吉区運営方針の中間振り返りについてご説明をお願いいたします。

○今西事業企画担当課長

事業企画担当課長の今西です。よろしく申し上げます。

資料2をご覧ください。令和3年度の東住吉区運営方針の中間振り返りということで8月末時点での状況を記載したシートを作らせていただきました。シートの右側の色を付けている項目が予定どおり進捗していないということで、この時点で4項目発生しております。

それぞれご説明させていただきますと、まず1-1-1子育て家庭への支援のところですが、こちらの親子サロンの関係等がやはり新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によって各地域での開催が見合わされているということで、当初予定していたとおりの実施ができておりません。ですから、右側の中間振り返りの項目のところの取組内容としては予定どおり進捗していないと書かせていただきました。目標につきましてはプロセスの指標等は集計中ですので、現時点ではまだ達成見込みとさせていただきます。

2つ目の2-1-1健康づくりですが、こちらも同様新型コロナウイルス感染症の感染拡大の関係で「はつらつ脳活性化元気アップ教室」について、これも地域で実施していただくものですが、こちら開催を見合わせたという関係もございまして予定どおり進捗していないということになっております。こちらの目標の、プロセス指標で②のはつらつ脳活性

化元気アップリーダー養成が参画する講座の開催回数を年 250 回以上と入れておりましたので、こちらは現時点で達成できないということが明確になっておりますので目標欄は未達成と入れさせていただいております。

続きまして 2-2-2 防犯力の強化ですが、こちらも新型コロナウイルス感染症の感染拡大の関係でひたたくり防止カバー取り付けキャンペーンやシリンダー錠の取り付けキャンペーン、子ども安全講習の実施などの各種イベントが予定どおり開催できていません。こちらにつきましては 10 月以降感染防止対策を行い、再開を予定していますが、現状では予定どおり進捗していないと書かせていただきました。

最後、3-1-1、こちらは区民相互の交流活動への支援ということですが、区民フェスティバルにつきましては新型コロナウイルス感染症の関係で中止となりましたので、予定どおり進捗していないとなっております。しかし区民文化祭や区民スポーツイベント、区内の大学等との共催講座、生涯学習関係につきましては日程の変更や実施方法の変更を行い、下半期に実施していくとなっておりますので、現状ではこの状態ということで報告させていただきます。

○沼田議長

はい。ありがとうございました。

今の資料 2 のご説明に関して何かご質問ご意見がございましたらお願いいたします。

よろしいですか。

はい、では、続きましてその他について事務局からご説明をお願いいたします。

○森本総合調整担当課長

はい、その他ということで、特に議題ということではございませんが、この間ご案内させていただいておりますとおり、今月末でこの区政会議委員の改選がございまして、18 名中 11 名の委員の方がそれぞれ 2 期 4 年間の任期を終えられるということになります。退任されます委員の皆さんですが、お手元の名簿順にご紹介をさせていただきますと、大平委員、榊委員、建林委員、筒井委員、中津委員、西田委員、花川委員、藤本英治委員、藤本佳孝委員、翠委員それと美濃委員でございます。皆様におかれましては在任中、区政会議の運営にご協力いただき本当にありがとうございました。

本日が最後の区政会議となりますので、皆様からこの機会にご発言をいただきたいと存じます。次の区政会議委員へバトンをつなぐという意味も込めて、区政に対するご意見・ご提案でも結構ですし、この 4 年間の感想でも結構ですので、任期を終えられる委員の皆様

からそれぞれご発言を頂戴したいと思います。

議長、よろしくお願いいたします。

○沼田議長

今、事務局からご説明がありましたとおり、区役所からのご依頼ということもございまして、区へのご提案やご意見、4年間の感想といったような形でも結構ですので、今月末で退任される委員の皆さんにご発言いただきたいと思います。

お手元の名簿順で大平委員からお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

○大平委員

はい、大平です。

前回説明があったシェアサイクルですが、私は東住吉区商店会連盟の代表で来ております。商店街は結構人通りが多いが売れるのは生鮮食料品ばかりだと駒川商店街の理事長さんとこの間もお話ししていました。他の商店は結構泣いているところが多いという話をされてきました。今回のシェアサイクルを楽しみにしていますということで、私も本当にそうだなと思いました。駒川商店街を例にとりますと、近鉄線の針中野駅それから大阪メトロの駒川中野駅、駒川中野駅は特に駒川駅前商店街の入口ですし、やはりそういう駅を起点としてシェアサイクルを動かすことによって、違う客層が増えるのではないかと楽しみにしております。またどんどん普及していかれることを希望しております。それから私が初めて自己紹介をさせていただいた時に私の携わっているグリーンの話ができるのが楽しみですということを言ったと思いますが、今回やっとまちづくりビジョン部会ができたと思ったら、私の任期が終わってしましまして、少し心残りです。

どうもみなさんいろいろありがとうございました。失礼します。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。もしよろしければ区役所からシェアサイクルの最新の状況とか、今のお話に関して何か情報提供があれば、是非お願いします。

○今西事業企画担当課長

ありがとうございます。シェアサイクルですが、現在ステーションの設置に向けて事業者と各施設等との調整をしている最中ございまして、11月中には稼働がスタートできるのではというところなんです。現状だけだと、鉄道駅はほぼ全てに設置可能ということ、区役所をはじめとする区内の施設、それ以外でも各種住宅系のところにも置いていただけない話になりつつあります。商店街にも置いていただく調整もさせていただいています。

稼働が始まれば区内で新しい移動の道ができると思います。それにより駅に対する人の考え方や施設と施設のつながりが強化されることでにぎわいが出てきたらいいと期待しているところです。詳細につきましては、区の広報紙やホームページ等でも随時更新していきますので、見守りください。よろしく申し上げます。

○沼田議長

はい。ありがとうございました。建林委員お願いいたします。

○建林委員

はい、建林でございます。今までありがとうございました。私はこの区政会議に来させていただくまでの印象は、東住吉区役所の仕事などあまり詳しく分からないことばかりでした。だからこそ「こうすればいいのに、ああなのに」と言ってしまうことがたくさんありましたが、今このような場をいただくことによっていろいろなことを教えていただき状況がだいぶ分かってきました。だからこそ「何て言っているのか、もっとこうしていけばいいのに」という気持ちも出てきたのが正直なところです。例えばアンケートの回答で、「区民の声が届かない、もっと広く周知を」ということがあると思うのですが、知っていくことにより、皆さんとの関わりによって、理解し合えることが繰り返されると思えました。そういった4年間でございました。また区政会議がこんなに地域密着でされているのだとすごく印象的でした。大阪市、区の行政に対して話ができて一緒に進んでいけるということがわかりました。実際、現場で皆さんと協力しながら進めていくしかないこともありますし、その中でアイデアもたくさんあると思います。私は介護保険の仕事をしていますのでよく感じますが、国で決まった制度の内容を聞いて対応しないといけないという事業者もあれば、自分たちで意見を出し合って現場はこんなことに困っている、だからこういうアイデアを上げていくという事業者もおられます。ということを感じる時に、やはり区行政に関しても決まったことだから仕方ないではなく、自分たち区民のほうからも、もっともっと声を上げて民官が共々に、区の行政を良くしていこうという気持ちにならないといけなかったと感じました。先ほど森本課長もおっしゃっていましたがウィズコロナでこれからどうやっていくかだと思うのですが、新型コロナウイルス感染症がまん延したことによりかなり進んだ内容もあると思います。仕事でデジタル化が進み、会議をウェブで開催するなど、自分たちにとって時間の都合が良い、いちいち現場まで行かなくても会議ができるというメリットが生まれました。しかし直接こうやって皆さんとお会いできるという温かみが少し削られたというところもあり、例えば新年会などの懇親会ができないことにより

コミュニケーション不足になり、皆さんが現場でストレスを抱えているという現状もございます。そういうことを考えますとこういった区政会議の形や区民の皆さまからお声を聞くという形と、アンケートを取ることや広報紙「なでしこ」をどう広めていくかということもこのウィズコロナだからこそ行っていけるウェブの形での進め方もあると思います。もっと関わり方を広げる可能性が増えたと思ったのと同時に、やはり皆さんとのこういう対面でのリアルの大事さも非常に感じた次第でございます。区政会議を良い形で前進させていただき、住んでいる私たちが東住吉区で良かったという誇りに思える区にさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。では、名簿順ということで筒井委員お願いいたします。

○筒井委員

筒井由美子です。4年間本当にありがとうございました。あつという間というのが正直な感想です。東住吉区に私は70数年住んでおりまして、自分もそれから子どもたちもみんな地元出身で同じ家にずっと住んでおり根っから地元愛に燃えております。私はまちづくりやまちの案内、広報紙「なでしこ」の編集などいろいろな形に関わっている中で、まちづくりビジョン部会ができるということで、実はすごく楽しみにしていましたが、残念ながら任期が終わってしまいまして、まちづくりビジョン部会に出席できないと少し残念に思っている次第です。それから、東住吉区は医療費の還付詐欺が頻繁に起きています。私も、引っかけりそうになりました。その辺の事情を言いますと、実は家族が入退院を繰り返して医療費が非常にかさんでいる状態でした。この間電話がかかってきたときに区役所の誰だれです。この3年間たくさん払っておられますので一部還付がありますという話で、それは自分の家にすごくマッチしている内容でした。そして区役所の誰だれという名前も言われました。私は幸いこの区政会議等々で区役所の人と少し顔見知りでしたので早速区役所にこういう名前の人いますかと言って電話をしたところいませんでした。ですから私の場合はこういうつながりがあり電話で確かめることができましたが、このつながりがない場合、特に高齢者の方は医療費がかさんでいる状況の中で3年間の医療費を少しお返しします、区役所の誰だれですと言われたら、普通信じてしまいます。そういうことで尋ねることができたのは幸いなことで、嘘とわかりました。いろいろな形で区役所とつながるということはとても大事なことだと思います。ごみの問題や詐欺の問題、なかなか自分に起きないと分からないこともあります。ぜひ身近な区役所、そしていろいろ相談ができ

る区役所、地域の人たちがお互い情報交換できるようなまちづくり、こういうことが非常に大事であると感じました。

以上です。ありがとうございました。

○沼田議長

はい、筒井委員、どうもありがとうございました。区役所から何かコメントはありますか。還付金詐欺の防止の取組みなど、もし同じような方が出られたらどこにご相談したらいでしょうか。

○西川区民企画課長

はい、区民企画課長の西川です。そうですね、区役所の職員の名前を騙ってというのは警察からも聞いております。警察とも連携しながらいろいろなところで話もしていますが、現在、新型コロナウイルス感染症の状況がありまして、なかなかキャンペーンとかできないところであったり、地域にお願いしながら、回覧なども考えたりしていますが、新型コロナウイルス感染症で掲示板への掲示はできますが、やはり回覧は少し不安に思われる方もいらっしゃるって、なかなか難しいところです。

そして、高齢者の方ということですが、ひとつの方法として、メールなどでそういう詐欺などの情報が入るという登録ができます。もっと周知をしていかなければいけないと思いますが、そういったメールで新しい情報があったらすぐに飛ばしてくれるようなものがあります。大阪府警察が行っている安まちメールは皆さんもご存じか分からないですが、高齢者の方でなかなか携帯がという方もいらっしゃいますが、今だと、メールでしたら割と高齢者の方も使われていると思います。安まちメールなどを登録していただきますと、そういった情報がすぐに入ってきます。東住吉区を登録していただくと、区内でこういった詐欺が起きているという情報などがすぐに入ってきます。その中には区役所職員の名をかたって医療費還付詐欺のような具体的に今どういうことが起きているかということが入ってきますのでぜひこういうことをご活用していただけたらと思いますし、これをもっと周知していきながら皆さんに情報がすぐに届けられるようなことにもっと取り組んでいきたいと考えております。以上です。

○沼田議長

はい、どうもありがとうございました。ぜひ皆さんもこういうものがあるということをお知り合いの高齢者の方にもご周知いただけたらと思います。では続きまして名簿順ということで、中津副議長お願いいたします。

○中津副議長

中津です。4年間区政会議委員をさせていただきました。最初は、大学、城南短大というこの地域にある大学ということでお声をかけていただき、その時、私自身は情報学という専門で伝え方や情報をどうやって伝えるといったことをしていただけて地域という部分に関わりをもって情報学をしていたわけではありませんでした。ホームページを作る程度のことはやっていましたが、東住吉区役所の方から別の形で声をかけていただきました。区が行っていることやホームページといったものをどのように区民の方に伝えていけばいいのかという話の中からこの区政会議にも参加させていただきました。現状はやはり区役所が行っていること、自分の住んでいる地域が行っていることというのは区民というところではどうしても距離があります。私もこの会議の中でいろいろな話をさせていただきながらどうしてもまだ遠いなということを感じております。そこはやはり区役所の方々やこの区政会議のメンバーの方々もよくおっしゃっていますがやはり伝え方とか情報の出し方、ホームページもそうですし、広報紙「なでしこ」などいろいろなやり方のかえてこの4年間の中で、どうやって伝えればいいのかというところを区役所の方々も話をいただいていると思っています。その時にやはり区に対してメリットを感じる世代はやはりだんだん変わって伝わっていつている部分、伝わっているからこそ区にもっとこうしてほしいという意見が出てほしいです。やはり期待しているからこそその世代はいろいろな意見がきたとしてもこうやってほしいああやってほしいということは伝わっていると思います。それが区に対してこうしてほしいああしてほしいということを書いてこない世代というのは、伝わっていないからこそ、そこに対して特に思いもないということがあるのではないかと思います。私も実際自分が住んでいる地域では、特に何か地域に対してということはありません。むしろ東住吉区役所、東住吉区、自分の大学の地域に関してはすごく興味があり、いろいろなことを考えていますが、自分が住んでいる地域については特に考えていません。それは何かというとやはり私たちの世代、子育てと関係してくる部分もありますが、それ以外をとってみるとあまり区とつながることのメリットというのを感じられないです。私たちの世代とあと若い世代もそうかもしれません。ただつながるといのは何のためにつながるのかというと、例えば防災や安心安全でしたらその世代の人たちと他の世代がつながることで、いろいろなメリットが生まれてくるからつながりたいですが、その世代につながらないといけないという話だけを言ってもなかなかこれから先もずっとつながらないのではと思います。やはり若い世代と高齢者の世代や若いお母さんたちの世代がどんど

んつながっていく、私たちの世代と全部がつながるのが多分理想で、みんなが安心してつながっていくまちということも言っていると思いますが、やはり何でつながる必要があるのか、特にこれからの世代、情報はインターネットでたくさん出てきます。その中で自分で調べれば済むというときは、なかなかそこからつながりを作ろうという人はいないと思います。自分のやりたいところでのつながりしかないという人たちのほうが多いと思います。そういう人たちにつながってもらうには、やはりそのメリット、このつながることがどのようにいいのかというメリットが必要です。そうした中でその人たちが気づいていない自分自身も多分その平均でいいと、そんなによくなくても平均でいいという世代がいると思いますので、その世代の人たちに自分は実はこういうことを望んでいたということを知ってあげられればつながりって本当に大切だなと思うと思います。私は区だけではすごく難しいと思います。私たちは大学などいろいろな組織がその橋渡しをしていくと区だけがやっているのではなく区と大学が一緒になってイベントなどを実施するとその中に参加してくる子がいて、そこに何かすごくプラスを感じられるとか、大学と一緒にすることで高齢者の方々やいろいろな世代がつながってくるのではないかというのがありまして、そのためにはその地域の企業、大学ももちろんですが、こういう区政会議の場に参加させていただき、区の人たちがいろいろなことを提案し、取組みを実施しようとしていることを、その地域の別の組織がその他の人に伝えていくということをしていかないといけないと一番思いました。若い世代のことについては、大学生に関して言いますと、これは次からの時に少し皆さんでも大学の使い方として考えていただきたいことです。たぶん、大学生でいろいろなボランティアを東住吉区内でもしてくれる子はいると思いますが、自分の地域ではあまりしていません。それは大学が関わることで1つのボランティアでも学びがあると思うから参加するだけで、例えば自分が住んでいる地域でボランティア募集があるからそこに手を上げていくかといったら意外に行っていないです。先ほどから何度も言っていますが、その橋渡しがどうしても必要だと思います。情報を伝える、みんなに伝えていくということはすごく大事だということをこの4年間を通して感じました。ですから、任期は終わりますが、これから短期大学女子学生が数百人いる大学としてできること、何ができるかということを考え、いろいろ東住吉区を活性化していくような取組みの橋渡しの役割を果たしていきたいと思っています。私はこの機会に参加させていただきましたが、何でもかんでも産官学、産官学とは言われますが本当に産官学は必要だと思います。そういう産官学が協力することが本当にまちづくりやまちの活性化など、いろいろなことに関

係してくるということをすごく感じさせていただきました。この4年間はすごくいい勉強になりましたし、自分の研究分野や知識の広がりにもすごくいい機会でしたので、本当でしたらもう少しいろいろなことを続けさせていただけたらもっと面白くなると思っています。今後ともいろいろな形で皆さんともお付き合いさせていただけたらと思っています。4年間ありがとうございました。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。では続きまして花川委員をお願いします。

○花川委員

民生委員の花川です。4年間本当にありがとうございました。最初の2年はしっかり活動できていたと思いますが、あと2年は新型コロナウイルス感染症の影響によりなかなか活動ができなかったと思っております。

安心つながり部会ということで、大和川を観察に南へ行かせていただきました。その時に矢田東地域を皆さんに見ていただき、安心安全なまちづくりということを皆さんで考えていただきました。本当にうれしく思っております。最後になりますが、この東住吉区には立派なスポーツ施設があります。大阪でも一、二のスポーツ施設があると思いますが、そのスポーツ施設を活用して教育のまち東住吉、そしてスポーツのまち東住吉ということでオリンピック選手やプロ野球選手などプロ選手を輩出することを願っていますので、よろしく願い申しあげます。

以上でございます。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。今おっしゃられたスポーツのまち、教育のまちに関して何か区役所からコメントはございますか。

○今西事業企画担当課長

直結するかどうかはわかりませんが、矢田南部地域まちづくりビジョンのまちづくり戦略の中に、「スポーツが盛んなまち」を掲げています。今回 GLP（GLP 大阪市東住吉区まちづくり特定目的会社）がまちづくりを行うということで、矢田教育の森公園、現状、鬱蒼と茂った森のような公園ですが、東側へ移設した際は平らなスポーツ等ができる公園を造るということになっております。現在はまだ公園を担当しています建設局等と詳細について詰めている最中ですので、具体的にどういう形になるかはまだ未定ですが、この区政会議での議論を基に今スマイルスポーツ矢田という形で元の青少年会館を活用したスポーツ施

設で暫定利用している部分がありますが、そこでかなりのスポーツニーズが掘り起こされたと思っています。そのニーズをそのまま消してしまうのではもったいない、それを引き継ぐような形で今回のまちづくりの中で矢田教育の森公園をリニューアルして、またそこで区民の皆様が気軽にスポーツができたり、場合によっては専門的なスポーツ、新しいXスポーツ（エクストリームスポーツ）と言われているスポーツをそこでできるような形でまちづくりを進めてまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。それでは藤本委員お願いいたします。

○藤本（英）委員

はい、ありがとうございます。藤本英治です。まず感じたことは自分が区に関して知っていることは本当に一部しかないということをおの間感じました。区が行っていることは非常に幅広く多くのことを行っておられるということに驚かされた次第です。それに伴って私自身もっと幅広い視野・視点が必要だと教えていただきました。私は公募で区政会議に來させていただいていましたが、企業と地域の距離が少しでも近づけばということをお目的に公募に応募させていただきました。区民の大半が中小企業で働く市民、国民の大半が中小企業で働くということとその距離が近づけばと思っていました。ただ十分なことができずに自分自身、地域を意識したいという思いで今回も実は地元の子を21歳の子ですが、正社員として来ていただくことになりました。自分自身の考え方が変わったというか、今後も企業づくりにまい進していきたくて思っております。今後のお願いですが、いかに企業を区政に巻き込んでいけるのか、いくのかという部分でまだまだ企業を区政に参加させる余地はあると思いますので、ぜひそういう視点を持って企業をうまく使っていただきたいと思います。おそらくこの会社で働いて地域のために役に立っている、うちの会社は地域のために役に立っているというような思いを持てばみんな働きがい、やりがいというものが出てくるでしょうし、我々も社員がそう思ってくれることを願っていますので、ぜひ区役所と協力して、今後もそういう企業でありたいと思っております。本当にありがとうございました。

○沼田議長

藤本英治委員、どうもありがとうございました。続きまして翠委員お願いいたします。

○翠委員

こんばんは、翠です。着座で失礼いたします。4年間大変お世話になりました。ありがと

うございました。私が一番心残りなのは在任中に上田前区長の送別会ならびに塩屋区長の歓迎会を行えなかったということです。区の目標としまして「子どもが輝き、みんながしあわせなまち」そしてその経営課題としまして、子育て層が住みたい住み続けたいと思うまちづくりの推進として取り組んでこられました。先ほどありましたようにこのコロナ禍におきましてその実行と結果の評価、これは非常に難しかったと思います。私は現在主任児童委員、区の連絡会の代表をさせていただいていますので、本日も昼間、子育て支援専門部会に参加させていただきました。区役所の職員の方々は本当に普段から区民のためによくやっけていただいていると思っております。

この区政会議で、私は子育て教育部会に所属させていただきました。個人的に青少年指導員であるとかPTA活動の経験を通じて学校や地域とのつながり、この中でやはりそういった経験から若い子育て層、子どもたち寄りの発想になってしまいがちですが、町会の役員会などに出席しますとやはり高齢者向けの施策の取組みがかなり必要だという認識を持ちます。今後は区の目標としては子どもたちと高齢者がいきいきと輝くみんながしあわせなまちと、先ほど中津副議長からもありましたように子どもたちと高齢者をうまくつなげていく、こういうまちづくりをめざしていただきたいと思います。それから区政会議の委員としまして、私は組織の代表ということではなく、公募枠でもありませんし、肩書は一民間企業の代表者ということです。これは藤本委員からも出ましたように、私は産学官連携で、これも中津副議長がおっしゃっておられましたが、区役所が産官学をめざされているという中で事業者として割と区役所の行政に近い立場にたまたまいたということで、ご推薦をいただいたと認識しています。本来でしたら藤本委員が言われたようにまちの企業が行政と協力していける方法をもう少し探ってみたかったと思っていますので、今後の区政会議の中で中小企業家同友会の代表の方も来ていただいていますし、ぜひ取り組んでいただけたらと思っています。まだこれからいろいろな形でお世話になると思います。よろしく願いいたします。それから最後ですが塩屋区長をはじめ職員の皆さまの健康をお祈りしまして、これからも頑張りたいと思っています。長居公園のリニューアル計画も出ていると思いますので、これも楽しみにしています。

どうもありがとうございました。

○沼田議長

翠委員、ありがとうございました。産学官連携のお話などが出ましたが、もし今後の取り組み方や意気込みでも結構です。何かコメントある方いらっしゃいますか。

区長よろしく申し上げます。

○塩屋区長

今、お二人の委員から産学官連携また、さきほど中津副議長からも同様の趣旨でのお話があったわけですが、まだそういった視点を持った形での取組みや検討ができていなかったと謙虚に反省しないといけないのではないかと思ったところです。もしかしたら私の認識できないところでこれまでいろいろな取組みを区役所としてはできている部分があるかもしれませんが、ご指摘のとおり折角こうやって志の高い熱い事業経営者の方々もいらっしゃる、また協力的な学校、大学もあるということは非常にありがたいことだと思っておりますので、ぜひこれをうまく、言葉は悪いですが活用させていただくといいですか、ぜひウインウインになるような形でもっていかなければいけないということを思った次第です。これからぜひ検討させていただければとご意見を聞きながら思った次第です。

ありがとうございました。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。では続きまして、美濃委員、お願いいたします。

○美濃委員

みなさん、こんばんは。4年間本当にお世話になりました。私は安心つながり部会を担当させていただきまして、また東住吉区地域振興会からこの会議に出席させていただいております。ご承知かと思いますが、東住吉区地域振興会は日本赤十字社の赤十字奉仕団が母体です。ご存じない方は多いと思うのですが、昭和22.3年頃に俗にいう町会を作るにあたって赤十字奉仕団の下部組織として発足したという流れがございます。そういった意味におきましても地域住民の安心安全の確保というのが大前提で我々は行動していると自負しているところでございます。区政会議に参加させていただきまして、いろいろ委員各位から区役所の提案に基づいて議論していますが、ソフト面の議論はありますが、ハード面、特に我々地域振興会としては目標を掲げております。まず区民センターを何とか作りたいということです。それから矢田南部地域ですがこれは区役所の皆様のご尽力を賜りまして今回、解決させていただきました。それに付随しまして旧矢田出張所これをどうするかということで我々としましては旧矢田出張所、大阪市でも避難勧告が出る地域としては特に矢田ですが、東住吉区には結構あります。ここしばらく台風は来ていませんが、大和川の氾濫等々で避難勧告が出ております。そのような意味でも旧矢田出張所の跡地を何とか防災センターにしていだけないかということで嘆願しております。東住吉区民に防災に

対しての啓発をする、資材の備蓄をする、あるいは講演をするなど、そういったコミュニティに使うということで防災センターを考えております。横に消防署の矢田出張所もございますので、それと唯一矢田水防分団といたしまして、大和川右岸水防事務組合の水防分団がございます。そういった意味でもいろいろな形で統合した中でこの旧矢田出張所を何とかしていただけたらと思っております。それともう一つ区役所へのアクセスですが、これが例えば育和などあの辺は全くないです。今回、区役所の西側のほうに生野区まで続いております道路が開通しました。区内に 14 連合ありますが皆さんが区役所にどのようにしていくのか、私は考えていますが、どのようなまちへ行っても区役所に行くアクセスは必ずあります。なぜ東住吉区に無いのかということに疑問に思っています。これも何とかしたいということで今、西川区民企画課長にいろいろ情報をいただいてなんとか少しでも高齢者でも行けるようせめて 1 時間に 1 本でもバスを通していただけたらと思っております。

それともうひとつ大きな課題ですが、これはおそらく難しいと思いますが、長居公園通りに地下鉄をなんとか招致したいです。2025 年に万博がありますが、いま中央線のアクセスしかございませんので、万博へのアクセスとして、地下鉄 9 号線を通してほしいです。喜連瓜破から住之江公園も BRT などでもなんとかつないでほしいです。実は住吉総合病院の小児科がなくなって、救急車で妊婦さんを旧府立病院まで搬送するのに高野線の開かずの踏切のために救急車の中で 2 人お産しています。そのような状況です。このようなことを言えばひがみ根性になるかと思いますが、大阪市全体を見れば北のほうはすごく施設面が充実しています。南のほうは何かないがしろにされているのではないかと思います。我々東住吉区は 13 万人も住んでいて同じように税金を払っているのですから、やはりそういった対価をいただけたらということを経済振興会として考えております。それから区民センターですが、これも少しひがみ根性になるかと思いますが、大阪市 24 区ありますが、その内、区民センターがないのが東住吉区と住之江区、東淀川区の 3 区だけです。他区については区民センター、例えば平野区は 2 つございます。住吉区に至っては立派な庁舎ができております。それに対して東住吉区はこのホールだけです。今回のワクチン接種にしても会場はスポーツセンター等もありましたが、東住吉区の会場はやはり古いです。それから根幹は催事をするコミュニケーションの場所がないということで、東住吉会館は会議をするだけですので、そういったものがないです。そういう意味で何回も申しますように、なぜ東住吉には区民センターはないのか、東住吉区民 13 万人の皆様にしひがんでいた

だきたいと思っております。東住吉区地域振興会としましては、そういう形で安心安全を守るという大前提の中でコミュニケーションの場である区民センターを作っていただく、ハード面で施設を作っていただきたいと考えております。町会の中でいろいろな催事をさせていただいて交流を高めたいと考えております。区政会議におきましてもそういった理論を今後進めていただきたいと思っております。立派な政策が出ているのは間違いないですが、具体的に我々としてしましては区民センター建設を要望しておりますので、何とか取り上げていただけたらと思うところでございます。

以上です。4年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

○沼田議長

美濃委員、ありがとうございました。防災から交通、あと施設面に關わるのところまで多岐に渡ってご意見をいただきましたが、もし現時点で何かコメントできることがあればぜひ一言お願いしたいと思っております。

○塩屋区長

今ご指摘いただきました防災に備えての対応は本当に重要だと思いますので、さまざまな観点で今後とも推進していきたいと思っております。

また、何点かご指摘のありましたハードの整備、また、交通アクセスの整備についてはかねて美濃委員からもいろいろな場で承っておりますし、そういった強い悲願といいますかご要望につきましては、長年そういったことをなかなか具現化していないという状況だということのを改めて認識させていただきましたので、今後のまちづくりビジョン部会などでもそういった状況やご意見も受けながらどこまでできるのか、我々の力を超えた部分ではなかなかできないかもしれませんが、是非そういった強いご要望、ニーズがあるといったことを踏まえながら臨んでいきたいと思っております。

抽象的な見解表明で誠に申し訳ございませんが、そういった状況でございます。

○沼田議長

はい、どうもありがとうございました。榊委員がお越しですので、退任にあたって一言いただければと思っております。

○榊委員

榊でございます。本当に4年間いろいろお世話になり、ありがとうございました。毎回夜間診療で遅刻するようなことがあって申し訳ございませんでした。

医者として東住吉区で仕事をしていますが、私自身ずいぶん何にも知らないなということ

がよくわかりました。仕事上とはずいぶん異なった視点でいろいろ課題を見せていただいたり、ご意見を聞かせていただいたりして自分としても何かスキルアップしたという気がしております。私もたくさんの学校の校医を務めさせていただいていますが、前半は子育て教育部会で中野中学校にフィールドワークで部会の方たちと訪ねさせていただいたりして、放課後子どもたちがどのように過ごしているとか大変勉強になるとともに興味深い思いをさせていただきました。後半はこのコロナ禍の中で十分対面会議もできなかったということが大変残念に思います。もちろん会議のみならず休校であったり、今も体育祭や修学旅行を中止せざるを得ないということになっているというのが、本当に心から残念に思っております。医療人としてこの感染症の収束に何とか力を尽くしたいと思うと同時に、自分が東住吉区で育って生活仕事もさせてもらって、孫たちも今ここで大きくなっているということもございまして、さらに東住吉区を愛してここの発展を祈るというような視点で今後とも仕事をしていきたいと思う次第でございます。本当にいろいろお世話になりありがとうございました。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。

そうですね、少しまだ時間がございますので、本日ご出席のこれから任期が続く皆様からも何かご意見ご感想とかがあればいただければと思いますが、いかがでしょうか。

柿本委員からご感想でも結構ですので、よろしいですか。

○柿本委員

はい。中小企業家同友会代表の柿本です。私自身も今、1年半委員をしていますが、まだ2回ほどしか会議には出席させていただいていないです。前回のシェアサイクルの話などはすごく身近で結構大阪市内でも走っているのを見たら赤い自転車ですぐわかります。シェアサイクルで走っているということを実感しています。全体を通して自分自身がわからないことをされているということですのですごく勉強になっています。私は中小企業家同友会から来させていただいて、さっきも出ていました産官学連携ということを我々中小企業家同友会のめざしているところ、地域とともに歩む中小企業というレーンからやはり関わっていかないといけないと思いますし、この先もこの区政会議ではそういうことを区役所と我々とウインウインでやっていければいいと思っております。以上です。

○沼田議長

はい、どうもありがとうございました。では山本委員、いかがでしょうか。

○山本委員

東住吉区青少年指導員連絡協議会の山本です。ここに来させていただいていますが、青少年指導員からはずっと今まで区政会議には来させていただいていました。この2年間、女性の意見が欲しいというお話だったので私が来させていただきました。子育て教育部会に入っているいろいろな勉強ができる、そして勉強してまた青少年指導員として地域に対して何かできることがあればと思ってきましたがなかなかできない2年間で少し残念に思います。中津副議長もおっしゃっていたボランティアに若い子をうまく引き入れたいということが私たちの本当の発展のためというか、地域の中でボランティアになかなか参加してくれないのは事実です。やはり働く世代というか女性も子育てが忙しい世代、男性も働く世代があります。青少年指導員は50歳で定年になりますが、私たちはちょうど子育て世代、若い世代と高齢者の世代との橋渡しの意味で地域の活動にもいろいろ参加させていただいていますが、やはりそういう機会もこの2年間なかったので、何か少しやりたいと思っている次第で区としても何かイベントをするのであればご協力させていただきたいので、その辺はこのコロナ禍でできることを何かしていただきたいと思っています。

任期はまだありますが、今まで4年間委員をされてきた方々のいろいろなお話を聞いてまた青少年指導員としてもやれることをやっていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

○沼田議長

はい、どうもありがとうございました。もし今コメントをいただいたような団体間の交流や先ほど建林委員からもありましたように情報発信、あるいはそのリアルの交流というものをどのように今後ウィズコロナという中でやっていくのかということに関して、もし今後の区政会議の進め方も含めて何か今の時点で事務局からこういうことをやっていきたいというようなお考えがあれば、コメントをいただければと思いますが、いかがですか。

○森本総合調整担当課長

区政会議の部会については、委員の皆さんご承知のとおりこれまで当区の場合は実地調査、それぞれ部会でテーマを決めていただいてそのテーマについて深めていく現場調査というか、学校など地域に出向いていただいてそこでのヒアリング調査そして最終的に報告をいただくというような形でやっていたのですが、こういったコロナ禍の状況の中でなかなか地域や学校に出向いて行っての調査が難しく、この間部会の開催ができていないという状況になっております。ただ現状ワクチン接種もどんどん進んできて、また今後感染

状況が落ち着いていけば、従来の形、すごくいいやり方だと思いますので、当区のそのいい伝統をぜひ続けられるように希望も込めまして、来年度からは従来のような形での部会開催ができないかと考えております。それに向けまして、今年度最終のおそらく年明けの2月、3月になるかと思いますが、そのあたりの区政会議では来年度以降の部会の活動についても皆さんで検討の準備をしていただきたいと考えているところですので、またご協力よろしく願いいたします。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。では山田委員、いかがでしょう。

○山田委員

東住吉区PTA協議会から参りました山田です。よろしく申し上げます。

要望といえば変ですが、子どもを持つ親として今12歳から18歳未満までの子どものワクチンを打つ場所というところで、大阪市がホームページ上にこの病院は12歳以上から18歳未満の子どもたちがこの病院だと打てますよという情報を発信されていますが、その中でこの病院は一般、この病院はかかりつけ医しか受け付けませんという情報までは載っていますが、いつコロナワクチンの接種ができるのかという情報がないということ、いろいろな方の親から聞きます。どうしても子どもの副反応、ワクチンを打ったあとの副反応が心配なので例えば金曜日の夜や夕方、土曜日に接種をして次の日休みというほうが打ちやすいので、そういう日に接種をしているところを探そうと思うと病院に電話を一軒ずつしていかないといけないです。今まで通っているかかりつけ医のところでしたら電話しやすいですが、全く行ったことがないところに電話をして、いつやっているのかを聞くのもなかなか聞けません。中にはもう行っている子どもたちもたくさんいます。9月の頭にたくさん子どもたちが新型コロナウイルス感染症に感染して、ここ最近ワクチン接種をするのに学校を3時間目から休んで行ったということを知ることが多くなってきました。やはり学校を休ませたり、早退させるのはなかなか勇気がいります。まして2回打たないといけないので、2回目を早退させないといけないので、中学1年生の子どもがいますが、まだ中学1年生はいいですが、中学3年生とか高校3年生とか受験を控えている子どもたちに授業を休ませるといことを考えるとなかなか勇気がいるので、難しいとは思いますが、金曜日の夜や夕方、土曜日などにこの東住吉区で12歳以上18歳未満の子どもがコロナワクチン接種が受けられたらありがたいと思っています。保護者の要望でよく聞いていますので、要望として挙げさせていただきます。

以上です。すみません。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。区役所から何かコロナワクチンに関する情報発信でコメントできますか。

○市川保健福祉課長

はい、すみません。保健福祉課の市川でございます。ご意見ありがとうございます。今、山田委員がおっしゃいましたように確かにホームページでファイザー社製のワクチンを使用した個別接種を各医療機関で行っていることを掲載しています。対象年齢が12歳から可能、かかりつけ医の患者さんのみ、あるいは一般の方を受け付けますなど、確かに掲載させていただいているところですが、個別の医療機関によりましては、実際に接種をされていても公表をあえてされていないところも実はあります。ですから公表ベースよりも実際は多くの医療機関で接種をしております、70を超えるところで今現在ご協力いただいています。ただ実際のご要望としまして、金曜日の夜間や土曜日、日曜日に行けるかと言いましたら、必ずしもそうならないというのは実際のところですが、ちょうど本日9月27日からこの区役所ではないですが、今、大阪市としまして、4つの区が運営を協力する形で4つの接種会場、東住吉区の近くでしたら、やすらぎ天空館で16歳以上の方を対象として接種を行っております。来週の枠としては、例えば1日の金曜日の夜間帯は予約が既に埋まっていますが、昼間でしたらまだ14時15時台でしたら予約も可能となっております。今週の水、木のあたりはまだ比較的予約枠もあるという状況で、おっしゃってました土曜日はやはり人気があるようで予約は埋まってしまっていますが、3日の日曜日はまだ午後から合計300ほど枠もありますので高校生の方は比較的接種可能となっております。また来週以降はワクチンセンターでも予約が可能となってきますので、そういったところもご利用いただきたいと思います。また先ほどおっしゃってました区内の医療機関でもまだ予約が一部可能となっております。ただし大変申し訳ないですが、やすらぎ天空館ではファイザー社製ではなくモデルナ社製のワクチンを使用します。個別接種という形で今ファイザー社製を使っている各医療機関の今後につきましては、場合によりましては国からのファイザー社製ワクチンの供給が限られているということがございますので、この先少し確定的なことが申しあげられないというのが実際のところなので、本当に区民の皆様方、特に今家庭内感染も含めて若い世代に感染が広がっている状況の中で申し訳ないですが、今のコロナワクチンの状況としましてはそのような形になっておるところでござ

ざいます。あと自衛隊が接種を行っているところでも 16 歳以上が接種可能となっていると思います。こちらはグランキューブ大阪になります。区役所でも 5 月 24 日から 8 月上旬まで接種をさせていただいていましたが、ファイザー社製ワクチンが当初の見込みよりも供給が安定しなかったということで、区民の方々それから接種にご協力いただきました医師会の先生方等々にもご迷惑をかけてしまいましたことをここでお詫びをさせていただきます。そういった状況でございます。よろしく申し上げます。

○塩屋区長

ただ今頂戴しました、中学生対象の接種についてのご要望、ご意見につきましては大阪市全体の課題でもあろうかと存じますので区長会などでも、どうやったらいいのか検討させていただきたいと思います。

小児科の専門の先生が、やはり、中学生については小児科の専門の先生がいなくなかなか難しいと、ご指導を頂戴した結果、このような形となってしまいました。良い方法はないか区長会などで検討したいと思います。

○沼田議長

はい、ありがとうございます。では松岡委員。

○松岡委員

社会福祉協議会の松岡と申します。私も女性部長さんが代わられたので、途中からいきなり担当することになりましたが、私の先人の方ですが、今川地域の方で、ものすごく愛が強くて、高齢者から子どもまで地域の皆さんに住みたい今川、住んで良かったというような感想を聞きながらとにかくものすごく政策を考えておられた方の後を引き継ぎました。社会福祉協議会にその政策を実施するために相談されたようです。その知恵をいただき今川地域は大阪市でも指折りの社会福祉の代表をさせていただくような取り組みを行っています。そして日本で唯一のボランティア部を立ち上げました。今川地域の行事などを全部録画し、パワーポイントにして北海道から地域にも出張していただき広めたり、勉強させていただいています。そして地域のセンターにも県外から勉強に来ていただいています。とにかく今川の方は皆さん一人一人が愛をこめて、歴代の女性部長が受け継いでボランティア部と女性部が両輪となって前へ進んできた地域です。地域のボランティア部長、女性部長は 17 町会ありますので、17 人が引き継いでいます。若い方にも引き継いでいますが、部長さんも高齢になっています。なかなか交代が難しくなっていますが、その愛にはものすごく皆さん乗っていただいていますので、これからはそれを次々引き継いでいかないとい

けないと思っています。地域も私たちも女性部でいろいろと行事を行っていますが、それにも子どもさんから高齢者まで参加をしていただきたいと思います。今は新型コロナウイルス感染症でできませんが、運動会をやったり、女性部の11教室ある教室の発表会など、小学校の講堂等を借りて行っています。地域の方からいつも200~300の方に集まっていただきます。今年はやるのかとかやってほしいと言っていますが、もう少し我慢しようと言って伸ばしている状態です。皆さんから声をかけていただき、こちらも声をかける、そして和気あいあいの地域になっています。今のところ役員の皆さんと一緒に楽しみながら待ちましょう、我慢しましょうと言って、待っていただいている状態です。

そのような報告しかできませんがよろしくお願いします。ありがとうございます。

○沼田議長

はい、どうもありがとうございました。すみません、若干時間が押していますが、今日お越しの市会議員の皆様一言コメントをいただければと思いますので加藤議員からお願いいたします。

○加藤市会議員

いつもありがとうございます。4年間の任期満了の皆さん方からいろいろなご意見をいただき、本当に参考になると思います。これからもこの東住吉のために皆さん方いろいろな力をいただいてそしてつながりをたくさん持っていただいて、このまちをもっと活性化させていただきたいとそのように願っております。

先ほど美濃委員がおっしゃいました区役所に行くためのバスがないのかというお話ですが、今、平野と生野でオンデマンドバスの立証実験、社会実験をしております。別に停留所はないですが、経路を定めないで利用者の予約によってバスが来てくれ、いわゆるワンボックスカーですが、そういう形で動いて行くというこれからの新しいやり方があるのかも分かりません。また新型コロナウイルス感染症につきましてもやはり12歳の方は保護者の皆さんついて行かないといけません。16歳でも保護者の方がついて行かれます。ついてきておられると私は病院に行った時にそのように見受けましたので、保護者の方と子どもたちが一緒にワクチンを接種しに来られていると思っております。若い方はかかりつけ医というのがありません。私たちはかかりつけ医がありますが、そういう面ではこれからも情報をもっと発信していただきたいと思います。それからつながるということはすごく簡単な意味かもしれないですが、なかなかこのつながるということは難しいということを私は改めて感じさせていただきました。つながりをもっと皆さん方と共に持ちたいとその

ように思っておりますので、これからもよろしくお願い申し上げます。

本当に皆さん4年間おつかれさまでございました。ありがとうございます。

○辻市会議員

皆さん、ありがとうございます。お世話になりました。お一人お一人の声をどう実現をさせていくかということに本当に真剣に取り組んでいただいて、4年間ご苦労様でございました。またうしろから支えていただきますようによろしくお願いをしたいと思います。

お話の中で矢田南部のお話もありましたが、いよいよまちづくりビジョン部会ということでございましたが、実質まちづくりビジョン部会があったようなものだと思っております。

今日も財政総務委員会で一例を挙げさせていただいて、矢田のお話もさせていただきましたが、こういった区政会議の場面でお一人お一人の意見が見事に結実して区役所の皆さんも本当に真剣に取り組んでいただいて、思いの外の額で得ることができましたし、また公園やスポーツ施設も作っていただいて、その作っていただいた施設をまた市に返していただくということになりますので、施設運営でもいろいろな工夫がこれからできていく新しいまちづくりのパターンがこの東住吉で出来たのでぜひ大阪市内で区役所と連携をしっかりと取っていただいて、それぞれが区の個性を活かしたまちづくりをしてもらうようにという質疑をさせていただきました。前回の区政会議で美濃委員からラスパ OSAKA の向かい側の道路を挟んだところの駐車場の問題をご指摘いただきました。本当に草がぼうぼうだと私も見に行かせていただき、草は撤去させていただきました。ここがどうなるのかということをお聞き合わせしましたら、実は矢田南部が上手いこといけたので、その余勢を駆ってというわけではないですが、いろいろ引き合いもあるそうでございますので、来年早々にも募集をかけたいというお話が出ましたので、いよいよ始まるのかということも矢田南部は令和8年ですが、あちら側もまた募集をかけてにぎわいづくりができればと思っております。そのような期待、わくわくのいろいろな発信をしていただいた今回の区政会議のメンバーであったと思います。また大なり小なりいろいろな課題がこれから出てくると思います。新型コロナウイルス感染症はいつ終わるのか、もうそろそろ緊急事態宣言は解除されると思いつつもまた第6波、第7波ということも考えられるような状況ですが、子どもを育てるいいまちでよかったと思えるようなまちづくりを着々と進めながらもこういった感染症対策も、情報共有をしながら発信していけるということが大事であるということも今ご指摘もありましたので、そういった部分ではまだまだ日本は弱い、大阪も弱いなど思っておりますので、そういったいろいろな課題をこれからもこの区政会議の中でご意見を頂戴

しながら解決をしていきたいという決意をしておりますので、どうかお力添いをいただきますようお願いいたします。

ありがとうございました。4年間お世話になりました。ありがとうございます。

○加藤市会議員

すみません、ひとつ聞かせていただいてもよろしいですか。今年は成人式がなかったですが、成人式ですが、今年、来年、役所としてはどうされるのかと思っておりますが、答えていただきたいと思っております。

○伊藤次世代育成担当課長

失礼いたします。次世代育成担当課長の伊藤です。今年の対象であった方につきましてはUSJで実施をするという予定がありましたので、区につきましてはそれに代えるということで進んで来ていましたが、新型コロナウイルス感染症の波がずっと続いてきているということで、今の時点ではまだ実施ができていないという状況であります。これにつきましては、実施できる時期が来ればというところで市全体で調整をしていると聞いておりますので、そちらのほうで進めてまいりたいと思っております。それから来年の対象の方につきましては出来るだけ密にならないような状況で実施できる方法を今検討しているところです。なかなか実行委員会が開けていませんが、これから実行委員会を開いてまいりまして、実行委員の皆様方のご意見も頂きながら来年に向けて進めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○加藤市会議員

聞きにくいと言いますと、保護者の皆さんから着物を借りるのに期間が要ると言われています。そうするといつ頃、1月でしたらもう10、11、12月は借りる期間が要るといことです。そこらあたりもできれば早く、コロナ禍の中で事情もよくわかりますが、親御さんに見たら成人の日というのはお祝いですので、そういう意見も出ております。またよろしくお願い申し上げます。

○伊藤次世代育成担当課長

ありがとうございます。区にもそういった問い合わせはいただいておりますので、できるだけ速やかに検討をして参りたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。また委員の皆様、ご提案いただきましてありがとうございました。皆様のご意見ご提案については、今後の区政会議でしっかりと引き継いでいき

たいと思っております。ありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、塩屋区長より一言いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○塩屋区長

本日も本当に長時間にわたりまして、ありがとうございました。また本日をもちまして、区政会議の委員をご退任いただきます 11 名の皆様方、心から改めてお礼を申し上げたいと思っております。今日のまとめの一言一言を拝聴しておりましてそう思いましたし、これまでも本当に 4 年間さまざまな建設的なご意見をご提起いただいたおかげでいろいろ進んだところがあったのではないかとと思っております。令和 2 年度の評価につきましてもこれは謙虚に受け止めて、いろいろ考え直していかないといけない点がたくさんあると思っております。

今日はまとめのご発言でもございましたが、やはり区民の皆様にもっと近い区役所、区役所というものが近い存在としてどうあってどうあらねばならないかといった視点でありますとか、またウィズコロナ、やはりアフターコロナはなかなか当面来ないと思っております。ウィズコロナの中でどこまできちんと活動をやりきっていくのか、感染対策をしながらやっていくのかといった知恵だしの部分などと言ったところは非常に重要になってくるということをお話しながらも改めて強く認識したところでございます。

またその具体的な方法として産官学という沢山あるこの区内の地域資源、そういったお力をもっと活用させていただき、連携させていただきといった取組みも非常に大きな力になったと思っております。これまでの 4 年間の皆さん方のご尽力に心から感謝を申し上げますとともに、また引き続きあと 2 年間ご一緒にさせていただき委員の皆様方引き続きよろしくお願いいたしますと思っておりますし、ぜひ委員ではなくてもおそろくいいまちづくりのためにはいろいろなご提起とかご支援も賜れるとも思っておりますので、ぜひ引き続きよろしくお願いいたします申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

○沼田議長

はい、区長、ありがとうございました。

では最後に事務局から事務連絡をお願いいたします。

○森本総合調整担当課長

はい、ありがとうございます。総合調整担当課長の森本です。

事務連絡、3 点ほどさせていただきます。

まず1点目ですが、配付させていただいています資料、参考と右上に書いている分ですが、令和3年度第1回区政会議における主なご意見と区の対応についてということで前回7月27日の区政会議の際に区役所から取組み紹介情報提供ということで矢田南部地域のまちづくり、シェアサイクル実証実験、子育て支援室の取組み、水害への備え、これらについてご説明をさせていただきましたが、それに対する委員の皆様からのご意見を左の方に書いております。これに対する区の対応方針ということで右のほうに書かせていただいております。またお時間がありますときにご覧いただければと思います。

それから2点目ですが、議事録の確認についてです。毎回ですが議事録が出来上がり次第、委員の皆様にご確認いただいておりますが今月末で委員任期を満了される皆様につきましても、おそらく確認は10月以降ということになります。区政会議委員としての最後の仕事ということで議事録確認にご協力いただきたいと思います。

それから最後に次回の区政会議のスケジュールですが今のところ11月中旬から12月中旬くらいにかけて新しいメンバーの方をお迎えしてということになります。今年度第3回目の区政会議を考えております。11月中旬から12月中旬、新型コロナウイルス感染症の感染状況とかもございしますが、また日程が近づきましたら日程調整をさせていただきますので、その際はよろしく願いいたします。

事務連絡は以上でございます。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。それではこれをもちまして令和3年度第2回東住吉区区政会議の本会議を終了いたします。皆さん、長時間どうもありがとうございました。